



# MDD

2023 明治安田生命 J1 LEAGUE

2023明治安田生命J1リーグ第32節  
@ 駅前不動産スタジアム

MATCHDAY PROGRAM  
サガン鳥栖オフィシャルマッチデープログラム

2023 Season | VOL 19

SaganTosu

MF 7  
Kohei TEZUKA

11.11 [SAT]  
15:00 KICK OFF  
vs 横浜FC



©1999 YOKOHAMA FULLE SPORTS CLUB

1年前、手塚康平は自分自身を変えたいと強く望んでサガン鳥栖にやって来た。「前への意識。走ること。ハードワーク。それが自分の課題であり、克服しなければならない目標」。自分の短所に向き合い、そこを変えようとする事は容易な作業ではない。実際に加入当初、手塚は鳥栖の練習に「きつさを感じていた」と振り返る。それでも、手塚はそんな環境をポジティブに捉えていた。「これが当たり前になさるようになれば、一皮剥けるんじゃないか」。そう思って鳥栖にやって来たからこそ、きつさを感じる練習が新鮮だった。そして、自分と向き合い、日ごとの練習から一歩ずつ歩みを進めたからこそ、手塚は自分の変化を徐々に感じ取れるようになっていく。「それまで、『きついな』と感じていたものが少しずつ、減ってきたのは自分が強くなった証拠なのかな。体が慣れてきたことで成長を感じられている」。加入から半年、今季の開幕前の段階で手塚には進化の兆しが見えていた。

進化が確実なものになったのは5月だった。第10節の浦和戦で途中出場し、加入後、初得点を挙げると第14節の新潟戦で今季初先発。ここから一気にボランチのレギュラーとして定着した。それは手塚の水準が鳥栖というチームが求めるスタンダードを超えた証でもあった。川井健太監督が求める戦い、走る姿勢において手塚が先発を託すに値する選手だと認めたのだ。左利きの手塚がボランチに定着したことで右サイドから左サイドへの展開はスムーズになり、鳥栖の攻撃のテンポ感とスピード感は大きく増した。自身の存在価値は増しても欲は増す。「鳥栖に来る前は安全なパスが多かったし、試合に出るようになるとミスしないようという意識が働く。でも、そういうときこそ、鳥栖で求められている前への意識と選択を持ってプレーすることでゴールも生まれるはず」。変わる喜びを知った手塚は「できるようになった」ことに満足しない。「もっとできるはず」に常に目を向けている。

自分を変えると信じて。

背番号7が見せる

進化

matchday program presents

佐賀県 presents

# 佐賀さいこう! DAY